STELLA PHARMA

News Release

2026年８月３日
ステラファーマ株式会社

海南 BNCT センターにおける症例報告が 第 22 回日本中性子捕捉療法学会学術大会で発表されました

ステラファーマ株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：上原 幸樹）は、2026年８月１日に京都大学で開催された第22回日本中性子捕捉療法学会学術大会において、中国・海南BNCTセンター（海南省博鰲）における初期治療経験が発表されたことをお知らせいたします。

本発表は、鵬博（海南）硼中子医療科技有限公司（Pengbo）のDr. Liuにより行われたもので、加速器型BNCTシステムを用いた初期の診療実績が報告されました。

海南BNCTセンターは、中国におけるBNCT診療拠点の一つとして整備が進められ、2026年３月に初めて患者治療を開始しました。同センターでは日本で承認されているBNCT治療方法に基づき、局所進行又は局所再発頭頸部癌患者に対する治療が実施されています。

発表では、治療後90日時点で評価可能であった10例の初期治療経験が報告されました。報告によれば、10例中８例で奏効（Complete Response又はPartial Response）が認められたことが紹介されるとともに、安全性についても初期の臨床経験が報告されました。

今回の発表は、中国におけるBNCT診療体制の整備および臨床経験の蓄積が着実に進展していることを示すものであり、BNCTの国際的な普及に向けた重要なマイルストーンの一つであると考えております。

当社はこれまで、中国におけるBNCT事業の推進に向けた取り組みを進めてまいりました。今回報告された初期治療経験は、中国におけるBNCTの臨床応用が実際の医療現場で開始され、その成果が学術的に発信される段階に至ったことを示すものであり、今後のさらなる発展が期待されます。

当社は今後も国内外の医療機関および事業パートナーとの連携を通じて、BNCTの普及と発展に取り組み、がん患者さんの治療選択肢拡大に貢献してまいります。

（注記）

本リリースは学会発表内容をご紹介するものであり、特定の医薬品又は医療機器の有効性若しくは安全性を保証又は宣伝するものではありません。

以上